

輸送動向について(12月分)

平成20年1月

1. 輸送概況

今月は、中旬に函館線苗穂駅～桑園駅間で防護無線誤作動による輸送障害が発生し、高速貨16本が運休したが、月全体を通しては大きな輸送障害もなく、比較的安定した輸送状況で推移した。

荷動きについては、中旬以降、年末需要が旺盛となり強勢な出荷となったが、(12月19日にコンテナ発送個数で過去最高となる18,521個を記録)、上旬の需要に盛り上がり欠けたほか、営業日が少なかったこともあり、全般的には低調に推移した。

コンテナ貨物では、堅調な出荷が続く自動車部品が前年を上回ったものの、政府備蓄米の積み増しにより、出荷が抑制された政府米が大きく減送となった農産品・青果物のほか、生産設備不調により減送となった紙・パルプなどが前年を大きく下回り、全体では前年比98.3%となった。

車扱貨物では、重油の減送のほか、暖冬及び原油価格の高止まりに伴う買い控えの影響を受けた石油が前年を大きく下回ったほか、住宅着工件数の減少等の影響を受けたセメントが減送となり、全体では前年比86.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,078	2,114	98.3%	17,573	17,466	100.6%
車 扱	1,282	1,482	86.5%	9,244	9,815	94.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	237	246	-9	96.3%
	化学工業品	195	200	-5	97.5%
	化学薬品	145	152	-7	95.4%
	食料工業品	329	329	0	100.0%
	紙・パルプ	309	321	-12	96.3%
	他工業品	157	155	2	101.3%
	積合せ貨物	238	238	0	100.0%
	自動車部品	74	65	9	113.8%
	家電・情報機器	37	39	-2	94.9%
	エコ関連物資	29	35	-6	82.9%
	その他	328	334	-6	98.2%
	コンテナ計	2,078	2,114	-36	98.3%
車 扱	石 油	897	1,023	-126	87.6%
	セメント	33	85	-52	38.6%
	石 灰 石	67	71	-4	94.0%
	車 両	138	156	-18	88.6%
	その他	148	147	1	100.7%
車扱計	1,282	1,482	-200	86.5%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)